

自社敷地内に保育園

大阪デリバリー

近隣企業からも入園可



物流業務の請け負いを行う大阪デリバリーは10月から、自社倉庫の敷地を活用し企業主導型保育園「岩出

倉庫まえ保育園」(和歌山県岩出市)を開園している。自社スタッフだけでなく近隣企業社員などからも広く入園希望者を募集しており、定員は19人。今後関西、関東、東海エリアを中心に2026年までに5カ所程度の開園を目指す。

木田晴孝副社長は「当社で働く社員の8割は主婦であり、最近では共働きの世帯も増えている。職場の近くに子供を預けられる場所があれば、ご両親も安心ではないか。今後も自社だけでなく地元の提携企業も増やし、業務での協力のきっかけにもしていきたい」と展望を述べる。

企業主導型保育園は、契約を結んだ地域企業と共同利用できることが特徴。近辺には物流施設も数多く、提携企業の輪を広げて交流を深め、将来的には各企業の繁忙・閑散期に合わせての人材のやり取りにもつなげたい考えだ。

定員は19人の小規模保育園で、保育対象は生後6カ月から2歳児、開園時間は午前7時30分から午後8時まで。現時点で2分の1ほどが埋まっており、今後同業・他業種問わず地域から提携企業を広く募る方針だ。(蓮尾輝)

生後6カ月から2歳児が
保育対象

物流ニッポン新聞

2021年10月19日3面